

令和2年5月21日

富山ファン倶楽部からの支援物資の寄贈について

日本国内における新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、中国の「富山ファン倶楽部」から本県に対し、支援物資が寄贈されましたので、次のとおり、知事及び議長が受け取り、テレビ会議によりお礼を伝えます。

1 日 時：令和2年5月22日(金) 10時～10時15分

2 場 所：県庁3階 特別室

3 対応者：石井知事、上田県議会議長 他

支援物資を確認し、富山ファン倶楽部 趙 建国 代表世話人とテレビ会議をします。

4 提供元：富山ファン倶楽部 (※)

※研修や留学などで富山県に滞在経験等のある中国人の人的ネットワークを構築し、会員相互の親睦を図るとともに、富山県と中国との各分野における交流活動に協力することにより、富山県と中国との相互発展を図ることを目的として、2004年に設立されたもの。2019年9月には、会員とその家族など65名が「里帰りツアー」として来県された。

代表世話人：趙 建国 (ちょう けんこく) 氏

会 員 数：396名 (令和2年3月31日現在)

5 支援物資：マスク 34,000枚 (5月14日到着)

今回の物資は、先に富山から遼寧省へマスクを寄贈したことに対するお礼の意味も込め、世話人の呼びかけで集まった寄付金により中国国内でマスクを購入のうえ、寄贈いただいたもの。

6 活用方法：

- ・ 34,000枚のうち、10,000枚は寄贈者より「教育機関で活用してほしい」とのご希望があり、教育委員会に提供して配布先を調整
- ・ 残りの24,000枚は富山県新型コロナウイルス感染症対策本部にて、他の物資とあわせて配布先を調整

(添付資料)

富山ファン倶楽部からの見舞状、写真 (大連港での発送の様子等)

その他ご参考(写真等)

(1) 添えられたメッセージ(趙建国代表世話人より)

(参考) 日本語訳 ※富山県大連事務所作成

富山県へのお見舞い

日本富山県知事

石井 隆一閣下

2020年新春の初め頃、新型コロナウイルスが全世界で広がっています。富山県の感染状況は日々酷くなり、確定した感染者数は175人になったとお伺いました。私も富山ファン倶楽部の会員も憂慮に耐えなく、心が酷く痛んでいます。ここで、私は富山ファン倶楽部の全員及び富山県を愛している友人の皆さんを代表いたしまして、富山県民へ心よりお見舞い申し上げます。

富山ファン倶楽部各世話人たちと会員の支援の下、ささやかな気持ちですが、寄付金を集め、防護用のマスクを購入し、富山県へ寄贈することになりました。富山県の新型コロナウイルスとの戦い、感染拡大を防止する時に、できる限りの協力と支援をしたいと思っております。

「遼河の雪が融け、富山の桜が咲き」、昔から積み重ねている深い友情を大事に、ともに新型コロナウイルスと戦い、石井閣下のご指導の下、強固で勇敢に戦う精神と自然災害に立ち向かう能力を持っている富山県民は必ず勝利を収めると信じております。

石井閣下のますますのご健勝、ご活躍、富山県のますますのご発展、富山県民のお幸せな生活を心からお祈りいたします。

富山ファン倶楽部

代表世話人 趙 建国

2020年4月27日

(2) 富山ファン倶楽会員による支援物資の送付(場所:大連港)



(3) 届いた支援物資(マスク)



(4) 石井隆一富山県知事ならびに上田英俊富山県議会議長とのテレビ会議
(※5月22日撮影)

